※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	１単位	年次	２年前期
使用教科書	高等学校『新地理総合』　（帝国書院）新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	CONNECT　地理総合　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・持続可能な社会づくりをめざし、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察する。
・グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を、地理的視座から地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察する。
・地図や地理情報システムなどを用いることで、汎用的で実践的な地理技能を習得する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・地理的事象の因果関係を写真や図表に着目し、相互の関連を考察することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・地理的事象や現代世界の諸課題について地理的・地域的特色との関連性や概念などを活用して多面的・多角的に考察できる。
【学びに向かう力、人間性等】
・地理的諸課題の具体事例から興味関心を高め、主体的に解決策を考える態度を養う。
・世界各地の生活文化の特色や現代世界が抱える諸課題を学び、地域の枠組みや人間の営みと関連付け異文化理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代世界の地域的特色とグローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめようとしている。	地理的事象や現代世界の諸課題について地理的・地域的特色との関連性や概念などを活用して多面的・多角的に考察し、それらを基に効果的に発表や説明、議論しようとしている。	地理的事象や持続可能な社会づくりについて、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	国際理解と国際協力	生活文化の多様性と国際理解 ・世界の産業と人々の生活	a: 人々の工夫と産業の発展，産業の発展と生産性,農業の近代化とその課題について理解している。 B:人々の工夫と産業の発展,産業の発展と生産性,農業の近代化とその課題について，多面的・多角的に考察し,表現している。 C:人々の工夫と産業の発展,産業の発展と生産性,産業の近代化とその課題について,よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	グループ協議 発表用紙 ワークシート	グループ協議 発表用紙 ワークシート	グループ協議 発表用紙 ワークシート
		地球的課題と国際協力 ・複雑に絡み合う地球的課題 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口問題 ・食糧問題 ・都市、居住問題	a: 世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に,地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題,資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 b: 世界各地でみられる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について,地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し,表現している。 c: 地球的課題と国際協力について,よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究,解決しようとしている。	考査 グループ協議 発表用紙 ワークシート	考査 グループ協議 発表用紙 ワークシート	グループ協議 発表用紙 ワークシート
	持続可能な地域づくりと私たち	自然環境と防災 ・日本の自然環境 ・地震、津波と防災 ・火山災害と防災 ・気象災害と防災 ・自然災害への備え 生活圏の調査と地域の展望	a：我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に,地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度,地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について,その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付けている。 b:地域性を踏まえた防災について,自然及び社会的条件との関わり,地域の共通点や差異,持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：自然環境と防災について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究,解決しようとしている。	考査 グループ協議における発表	考査 グループ協議における発表 ノート	グループ協議における発表 ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度